

NCCU NEWS

北関東総支部のみなさんへ

北関東第 4 号

2014年1月21日発行
 UA ゼンセン日本介護クラフトユニオン
 発行人 NCCU事務局長 染川 朗
 編集人 総支部長 川田 治毅
 連絡先 上記と同じ

さいたま市議員と政策懇談会開催

寒さ厳しい中、日々の業務たいへんお疲れ様です。NCCU北関東支部ではUAゼンセン埼玉県支部合同主催でさいたま市民民主党市議団と政策政治懇談会を1月15日に浦和ゼンセン埼玉県支部会議室にて開催しました。

出席者はUAゼンセン埼玉県支部より牧田支部長、小日向次長、小林参与、民主党さいたま市議団より熊谷裕人議員、小川 ひさし議員、NCCUより川田総支部長、田中常任、中山常任の8名でした。(写真参照)

懇親会より神崎いさお議員、NCCU北関東総支部運営委員より戸口 政己運営委員長、平戸 有紀子副委員長、小山 広美政治・政策委員長に出席をしていただきさらに情報交換と交流を深めました。

今後もさいたま市議団との政策懇談会を継続していきます。



NCCUの処遇改善調査結果などを基にUAゼンセンと市議会議員との意見交換の様子です。

今回の政策懇談会より提案され実行、検討すること

- ① NCCUの「処遇改善調査」結果を基に「介護職員処遇改善加算」の介護職員へ賃金の反映状況について、地方議会等で状況報告を求める。
- ② 組織内議員を通して意見書などの要請を上げて、県議会、国等へ「介護職員の処遇改善」を求めることを検討する。
- ③ 全国のUAゼンセン県支部へ介護職員の処遇改善策を要請依頼していくことを検討する。UAゼンセンの各県支部から組織内議員を通して地方自治体の議会等へ働きかけを行うこともできるのではないかと。

次の文書は昨年 12 月 17 日付でさいたま市 保健福祉局 福祉部 介護保険課長名で通達された「通所介護における無料（低額）体験利用の実施について」の文書になります。

この通達は 昨年のさいたま市議との政策懇談会において無料体験の要請を小川ひさし議員に依頼して、小川議員がさいたま市議会に規定制定の議案提出をして、さいたま市において制定が決定されたものです。

保 福 介 第 8 6 8 号
平成 25 年 12 月 17 日

指定通所介護事業所
指定介護予防通所介護事業所 管理者 様

さいたま市 保健福祉局 福祉部 介護保険課長
(公印省略)

通所介護における無料（低額）体験利用の実施について（通知）

日頃から介護保険事業の適正な運営に御協力をいただき、厚くお礼申し上げます。
さて、通所介護事業所において、初めて通所介護サービスを利用する方又は将来通所介護サービスを利用する予定の方に対して、事業所又はサービスの選択に資する等の理由で「無料（低額）体験利用」を実施している場合が見受けられるところですが、「無料（低額）体験利用」を実施する場合には、介護保険サービス外の事業として、下記の事項に留意いただき、実施するよう通知いたします。

なお、実施に当たっては、「さいたま市指定居宅（介護予防）サービスの事業の人員、設備及び運営等に関する条例」に準じて行うとともに、介護保険サービス外の利用となりますので、事故には細心の注意を払い、事故発生時における賠償すべき事態には対応できるようお願いします。

記

- 1 利用者、無料（低額）利用事業が指定通所介護の事業とは別の事業であり、当該サービスが介護保険給付の対象とならないサービスであることを説明し、理解を得ること。
- 2 当該事業の目的、運営方針、利用料等が指定通所介護事業所の運営規程とは別に定められていること。
- 3 会計が、指定通所介護の事業の会計と区分されていること。
- 4 サービス提供日に体験利用者を受け入れる際は、要介護者等利用者に対するサービス提供の水準を確保する必要があるため、利用者と体験利用者の合計人数に対する人員配置、設備基準を満たすとともに、当該体験利用者を含めて利用定員を超えてサービスの提供を行ってはならないこと。



さいたま市議会の
小川 ひさし議員で
す。デイサービス無料
体験利用実施にご尽力
いただきました。

政策懇談会についての意見、質問がありましたらご返信ください。

FAX 03-5730-9382 北関東総支部 川田宛